

ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会

第13号 2006年4月

平成18年度総会に向けて

会長 加藤 賢三

ほたるの里づくりは、いつ、どのように、始まったのかご存知ですか？

「ほたるの里はこのようになるといいな」をイメージして、18年度のはじめとして、里の少しむかしをふりかえり、今後を考えて見ました。

ほたるの里の造成計画は、平成5年度の先進地の視察や基礎研究から始まり、以降検討を重ね、平成9年度には、やっと里の造成整備を終えることができました。その頃、開設された八千代ふるさとステーションとほたるの里の整備がほぼ同じ頃に行われたと記憶しています。

里の初期整備は、試験的に八千代ホタルフォーラムを含む八千代環境フォーラムを中心として、子供エコクラブなどが加わり、市民団体と市とのグラウンドワーク方式で始まりました。ほたるの里の造成した水路や池の周辺にリュウノヒゲを植えたことや、10年後開

封予定のタイムカプセルを埋めたことも楽しい思い出になっています。平成10年には、実行委員会が設立され、今年で、9年目を迎える運びとなっています。ちなみに、里は八千代市米本の、乳清水（ちっこしみず）に隣接していて、その面積は、3293平米となっています。里は基本的には水路（ゲンジボタル）、湿地帯（ヘイケボタル）、池（トンボとメダカ）の三つの



タイムカプセル埋設

(提供:広報公聴課)

部分からできています。そして、水路の水が滞りなく流れるための循環ポンプが設置されています。

初期には、ゲンジボタルもヘイケボタルも養殖して放流をしていましたが、ここ数年は、放流もしていません。八千代市内にはゲンジボタルの自生はありませんので、現在は、八千代の地域に根付いたヘイケボタルの自生を進めています。

八千代市ほたるの里づくり実行委員会は、事務局を市の環境保全課が担当し、その他の広報部、企画部、環境整備に関する部門でもみな市民が担当しています。

年会費500円で運営していることから、資金規模も通常の市民団体と同じくらいかと思われます。昨年から、事業者の皆さんにご協力を頂いて、賛助会員に加入していただいています。

将来を見通した場合、指定管理者制度での運営も可能かもしれませんが、今までの里の運営は、協働によるものとして、とても理想的に行われていると理解しています。

里整備の課題としては、水路や池の周辺の修復工事などが必要と思われます。また、里周辺の休耕田の借用なども法律的な問題がネックになっていますが、これが可能であれば、里作りへの夢が広がります。ほたるの里は、今や、八千代の財産でもあり、名所？でもあり、次世代のワンダーランドにするため、みなさまからのアイデアとご参加をお願いしたいと思います。

私たちはほたるの里を応援しています！

有限会社ふれあい総合企画 松沼 進
アリコジャパン 花島 哲也
自家焙煎珈琲豆専門店 株式会社プラス

日産プリンス千葉販売千葉北中古車センター
株式会社関東塗装 秋山 亮
共栄物流株式会社

谷津ものがたり

森下谷津の今昔

広報部 森 繁

八千代市の周辺保全配慮地区に指定されている森下谷津は、上流は西谷津、平沢谷津に分かれ、下流は家下谷津を合わせます。

上高野で梨園や水田を経営されている山崎さんに、森下谷津を案内していただきながらお話を伺いました。

◆むかしの森下谷津

昔の森下谷津はどのようなようすでしたか？

「子供のころは、ザリガニ、ドジョウ、シジミ、タニシがたくさんいて、ダボハゼ、コイ、フナ、タナゴもいたし、イモリもいたよ。よく取ったりして遊んだものです」

植物はなにがありましたか？

「クマガイソウもあったし、ヤマユリ、キンラン、ギンランも多かった。ウドもフキも採ったし、カキドオシを干して薬にもしましたよ」

ホタルはどうでしたか？

「いやあ、いっぱいいたな。でも 10 年ぐらい前から数が減りましたね」

原因は？

「水田の基盤整備（約 35 年前ごろから）が始まったからでしょうかね。以前は川が中央部を流れていました。水田に暗渠が入り、乾田化していきました。川も U 字溝が整備され、生物が減ってきたようです」

道の傍らの大きな倒木は、山崎さんの話によると、かつての暗渠工事の際に出たもので、古い時代の埋木でした。

「保品へ行く道路の工事の際は貝塚が出ました。古くから人が住んでいたのですね」谷津の永い歴史がうかがえるお話です。



取材の様子



森下谷津の風景

◆いまの森下谷津

森下谷津の台地上には道路計画があり、土地の買収も終わっているそうです。架橋工事が進み、平沢谷津周辺では道路工事や宅地開発も始まっています。

山崎さんに案内していただいた上流側の U 字溝には、斜面林や水田からの湧水が見られ、きれいな水が流れています。そして藻類や水草が生えだしていました。

「ドジョウが戻ってきましたよ。水田にはヒキガエルの卵や、タニシやヒルも。トンボ類も多いです。ヘイケボタルが見られるかもしれませんね。これは減農薬のせいでしょう。農薬の空中散布も年 1 回になりました。また谷津のゴミの回収・清掃も夏期に 1 回ですがやっています。農家の奥さん方もアケビ細工用の蔓や実、ヤマウド、フキノトウなどを採って自然を楽しんでいますよ」

自然が戻りつつあるという山崎さんのうれしい話ですが、粗大ゴミなどの不法投棄は後を絶ちません。

八千代市植物目録（1982、1994 年版）を見ると、現在の森下谷津では少ない植物（例、ホタルブクロ、キンラン、ギンラン、トラノオ類等）は既に当時から少なかったことが分かります。しかし、現在の森下谷津でもよく観察すれば、ヤマトリカブト、ヤマホトトギス、キツネノカミソリ、ツリガネニンジン、トキリマメ、サルナシ等が見られ、マユミ、ツリバナ、サワフタギ、ムラサキシキブ、ゴンズイ、アケビ、野生グリ、ムクノキ、シラカシ、スダジイ、アオキなど秋の実成りも豊かです。そして多彩な斜面林の新緑は絶景です。近隣台地上の駒形神社、白幡神社、菅原神社の古木群も併せて散策するには良い場所ではないでしょうか。

森下谷津の素晴らしい自然をこれからも保全していきたいものです。

里のみどころ（4～6月のころ）

春のやわらかい光が水面にきらりと光ります。

水路の中では、メダカがスイスイと群れて泳ぎ、カワニナの動いた跡があちこちに見えます。

湿地では、ハンゲショウの芽やショウブの芽がぐんぐんと伸び、

ニホンアカガエルのオタマジャクシがたくさん泳いでいます。

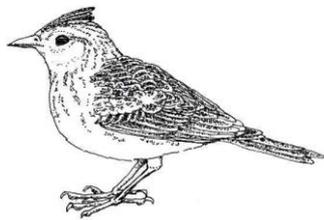
里の周りでは、ツクシ、キジムシロ、シロバナタンポポなど、次々と花が咲きます。

大きなケヤキの芽の色が、日に日に変わり、春の息吹がいっぱいのホタルの里です。

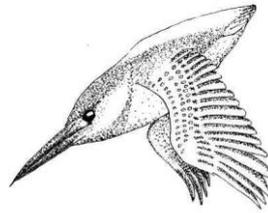
水が張られたたんぼの上では、ヒバリがさえずっています。

ヘイケボタルの幼虫は、5月頃にはそろそろ上陸し始め、6月終わり頃にはやさしい光がみられるでしょう。

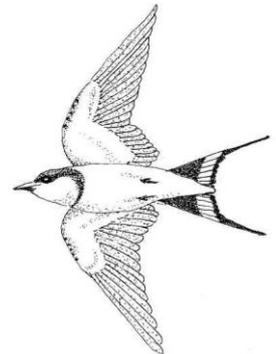
(くわはた)



ヒバリ



カワセミ



ツバメ

(もり)

各地からのホタルだより

ホタルの輝きを求めて

NACS-J 自然観察指導 坂月川愛好会会員 石嶋基次 (千葉市)

千葉市の東部、加曾利貝塚公園の傍を流れる坂月川の上流部にヘイケボタルの輝きが戻って来たのは5年前でした。

都市開発が進み、住宅団地の建設が続けられ小河川の坂月川は生活雑排水の放水路として使われ、都川に流入して東京湾へと流されていたのです。

古くは加曾利貝塚に住んでいた縄文人が利用していた河川、坂月川は綺麗な水と周囲の雑木林に囲まれ、川の両側には谷津田が広がり豊かな自然環境のある場所でした。その川が汚泥と悪臭のする汚い川になってしまい河川の環境は悪くなるばかりでした。

地元の古老に聞いた「昔はホタルが飛び交い家の中まで来たもんだ」「川で泳いだり魚を取ったよ」と話を聞いて、水環境改善の指標としてヘイケボタルの再現を掲げて地域住民が活動を始めたのです。ゴミ拾い、水質検査、草刈、水棲生物・植物・野鳥調査と出来る事から地道に継続して来ました。

地域住民と行政 (千葉市) の協働作業として取り組み、数々の試行錯誤を繰り返しながらヘイケボタルの再現を願って来たのです。地域住民と勉強会を開き、生の声を聞き、意見交換して河川環境改善の施策を行って来た行政担当者の努力にも報いたホタルでもあります。市街地の中にありモノレールが頭上を走る小河川ですが毎年多くの人々が訪れて小さな輝きを楽しんで貰えるようになりました。

未来を担う子供達に夢を、懐かしい思い出を甦らせる人々への輝きをいつまでも継続できる自然環境を残すために一層の努力が必要でしょう。



坂月川全景

18年度のスケジュール

絵 会

4 / 8 (土)	10:00~12:00
-----------	-------------

ナイトウォッチング

7 / 1 (土)	19:00~20:30
-----------	-------------

見 学 会

11 / 26 (日)	8:30~17:00
-------------	------------

学 習 会

10 / 21 (土)	10:00~12:00
-------------	-------------

写 真 展

5 / 20 (土)	市民会館 (予 定)
------------	------------

5 / 24 (水) ~ 31 (水)	イオン八千代緑が丘 ショッピングセンター (予定)
------------------------	------------------------------

環 境 整 備

5 / 13 (土)	10:00~12:00
6 / 24 (土)	10:00~12:00
7 / 29 (土)	9:00~11:00
8 / 19 (土)	9:00~11:00
9 / 30 (土)	10:00~12:00
11 / 18 (土)	10:00~12:00
3 / 3 (土)	10:00~12:00

ザリガニ釣り大会

9 / 30 (土)	10:00~12:00
------------	-------------

「八千代の自然」作品募集

八千代市とほたるの里づくり実行委員会では、残された身近な自然、失われた水辺・自然の再生を願って、「八千代の自然」作品展を行います。ほたるの里や八千代の四季、自然、おもしろい写真などなど、あなたの好きな八千代の自然を収めた作品を募集しておりますので、作品をお寄せください。

募集について

○募集テーマ：私の好きな八千代の自然

○募集内容：写真はキャビネ～4つ切り、

絵画はハガキ大～F6程度、書は半切程度、和歌・俳句

○募集期間：平成18年4月24日(月)～5月10日(水)

○提出先：八千代市環境保全課

展示について

○展示期間・場所：平成18年5月20日(土)

八千代市市民会館ロビー

平成18年5月24日(水)から31日(水)

イオン八千代緑が丘店

○表彰方法：展示当日、ご来場頂いた方による投票を行います。上位入賞者にはほたるの里づくり実行委員会より、表彰させていただきます。

第9回総会

ほたるの里づくり総会は以下のように行います。皆様のご参加をお願いします。

日 時：4月8日(土) 10:00~12:00

場 所：ふるさとステーション会議室

ほたるの里への行き方



交通 東洋バス「勝田台駅発米本団地行」に乗車し、米本団地入口で下車します。新八千代病院わきを下ると、ほたるの里です。

【ほたるの里の連絡先】

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課

Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824 E-mail kankyou2@city.yachiyo.chiba.jp

【編集】

広報部会 事務局